

「環境学習都市宣言」20周年 夙川公園の歴史と環境から学ぶ西宮の未来

香櫨園コミュニティ協議会

地域力向上型

事業費 99,101 円
助成額 75,000 円

●当初の課題・事業目的

夙川公園は地域住民と行政の協力のもと、昭和 12 年に完成しました。

これは今、喧伝されている SGD の先取りです。

この都会の中の自然、山から海まで続いている緑豊かな夙川公園の歴史と経緯を知ることが、過去から引き継いだこの素晴らしい遺産を西宮の未来へ引き渡すこととなります。



会長 平野 茂

●事業概要

小さな生き物も自然と深いがり繋がりがあることを知ることが大事。

・『オオクワガタ教室』 7月15日(土) 香櫨園市民センター 参加者：28名 (付き添い保護者は除く)

・『クモの糸の謎に迫る!』 9月30日(土) 香櫨園市民センター

講師：奈良県立医科大学名誉教授 大崎 茂芳 氏 参加者：41名

地域の歴史を知る事によって、地域に愛着と誇りを持つことになる。

・『夙川・香櫨園の変遷を知る! 夙川流域街歩き』 夙川公民館 講師：足立 年樹 氏

《第1回》10月30日(月) 参加者：28名 《第2回》11月9日(木) 参加者：19名

・『夙川・香櫨園プチ検定』 11月19日(日) 香櫨園市民センター

講師：西宮芦屋研究所 副所長 小西 巧治 氏 参加者：13名

夙川オアシスロードを実際に歩くことによって、都会に残された素晴らしい自然を知ることにつながる。

・『わんわんパレード』 10月14日(土) 夙川オアシスロード 参加者：32組 64名

書いたり描いたりすることによって、自然を見つめることになる。

・『子ども作品展』 11月7日(火)~12日(日) 市民ギャラリー

作品総数：126点 (小学生 100点、中学生 26点) 来場者数：272名



●事業の成果・工夫した点

- ・小さな虫を育てることで、虫たちも自然と深い関わりを持って自然の中で生きていることを学んでもらうことができた。
- ・『オオクワガタ教室』の幼虫の確保を前年に行った。
- ・犬と散歩しながら子どもの見守りをお願いして、新たに10人に『こうろえんみまもり隊』に加入してもらった。

●苦労した点・今後の課題

- ・『オオクワガタ教室』では、飼育方法が子供には難しいので、保護者の同伴をお願いした。
- ・屋外の行事(街歩き)は天候に左右されるので、実施には気を使った。
- ・わんわんパレードでは、社会的な躰ができていないことを参加条件にした。
- ・パレード時の交通整理に苦労した。

●代表者の感想

- ・3年前に、西日本では初めて夙川オアシスロードで『わんわんパレード』をしましたが、3回目の今年も好評で、参加者の声を受けて今後は地域の恒例行事にする予定です。
- ・今、子ども達の身近に昆虫や小動物がないので、触ることは殆どありません。身近な昆虫の飼育から、自然環境に興味を持ってもらうのが一番です。クワガタ教室は今年で3回目です。